



※写真はイメージです。

No.11

三陸ジオパーク ワクワクフェスタ

- 実施
時期
- (1)三陸ジオパークフォーラム
2019年6月15日(土)、16日(日)
 - (2)岩手の海とジオの魅力展
2019年6月1日(土)~8月7日(水)
 - (3)親子釣りフェスタ&ジオツアー
2019年8月上旬

実施場所

- (1)三陸ジオパークフォーラム
沿岸地域の小中ホール(300名程度の収容施設)及び多目的研修施設(50名程度の収容施設)
- (2)岩手の海とジオの魅力展
もぐらんぴあ(久慈市)、崎山貝塚縄文の森ミュージアム・県立水産科学館(宮古市)、
鯨と海の科学館(山田町)、釜石市郷土資料館(釜石市)、大船渡市立博物館・
陸前高田市立博物館(大船渡市にて共同開催)
- (3)親子釣りフェスタ&ジオツアー(調整中)

実施主体

主催:三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会
共催:開催地市町村、三陸ジオパーク推進協議会(調整中)

事業目的

三陸ジオパークに携わる関係者の交流、情報交換の場を設けることにより、三陸ジオパークに関する認識等を共有し、機運醸成を図る。
三陸ジオパークを題材とした親子や子供たちの学びの機会を提供するとともに、三陸ジオパークの魅力を発信する。
本プロジェクトを通じた三陸ジオパークに関する普及啓発や理解促進に取り組む。
三陸ジオパークを契機とした三陸エリアのレジャー振興・拡大を図る。

ターゲット

オールターゲット(沿岸、内陸、全国、海外)
【集客目標】36,000人

実施市町村

宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、山田町、岩泉町

関連事業

No.12 三陸ジオパーク フォトログイニングフェスティバル

事業内容

夏休みを利用し、親子や仲間と楽しめるジオパークの場を提供する。

期間を設け、沿岸地域にイベントを点在させたオープンエリアイベントとして周遊と交流促進を図る。

(1)三陸ジオパークフォーラム

基調講演のほか、岩石標本作りなどの「三陸ジオパーク体験学習」を実施壁新聞等を展示するとともに、フォーラムに参加するジオパーク関係者に対して、交流会やエクスカージョンツアー(体験型見学会)を実施する。

(2)岩手の海とジオの魅力展**① 三陸ジオパークに点在する博物館施設等による共同展示**

三陸ジオパークに点在する博物館施設がそれぞれの強みを生かし、三陸ジオパークの地質・歴史・生息する生物等に関する展示を行い、各施設がつながることで、「三陸のひとつの大きな博物館」として展示を行い、県内外の多くの方々に三陸ジオパークの魅力に触れてもらう。

② 国立科学博物館と県立博物館の共同巡回展示

国立科学博物館と連携し、地質・歴史・生物にまつわる資料を三陸の博物館施設等において巡回して展示する。

(3)親子釣りフェスタ&ジオツアー

ジオツアーを通じて、三陸ジオパークの自然や震災遺構等を学ぶ機会を創出するとともに、釣りや魚の生態を通じて子供たちが三陸ジオパークの自然を学ぶ親子釣りイベントを実施する。

期待される効果

- ・ 三陸ジオパークの重層的な情報発信により認知度の向上が図られる。
- ・ 三陸ジオパーク、海をテーマにした親子での学びの場が提供される。
- ・ 三陸ジオパークを核とした夏休み自由研究、総合学習の場が提供される。

今後の展開方向

- ・ 次期総合計画「長期ビジョン」(案)の三陸防災復興ゾーンプロジェクトに掲げる、三陸の地質遺産や文化・自然を活用した教育、保護・保全と国内外への情報発信、ジオツーリズムなどに取り組むジオパーク活動の振興を図る。
- ・ 三陸ジオパークに関する普及啓発・理解促進を図る。
- ・ 三陸地域の博物館施設の横の連携を深め、会期後も様々なテーマで独自の連携が図られる。